

2022 年 9 月発行 VOL.116

なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌

♪ 2022 年 6 月に着任した長崎県の国際交流員(CIR)を紹介します！



皆さん、初めまして。私はフィッシャー・マーギュリートと申します。愛称はペギーなので、ペギーと呼んでください！

Q 1：出身地はどちらですか？

出身はオーストラリアのシドニーです。シドニーはオーストラリア最大の都市です。自然はとても美しく、天候も年中ちょうどいいです。特に私の生まれ育ったところは北部（ノーザンビーチズ）と言って、北はパームビーチから南はマンリービーチまで数々のきれいなビーチが続いている所です。週末に、ビーチで海水浴やサーフィンをするのが人気です。シドニーは国際都市で移民が多いので、様々な民族が住んでいて、様々な文化や料理を楽しむ事ができます。

Q 2：なぜ日本へ？

小学生の時にシドニーにある日本人学校に通っており、日本人のクラスメートから様々な日本の文化を教えてもらいました。それがきっかけで、日本の文化に興味を持ち、旅行で何度も来日しました。日本の文化をもっと深く学びたいと思い、国際交流員の仕事を希望しました。

Q 3：趣味はありますか？

シドニーのマンリービーチの近くで育ったので、海水浴が大好きです。上手じゃないけれど、バドミントンも好きです。

Q 4：長崎県民のみなさんへ一言お願いします！

皆様から長崎県の深い歴史や文化を学びながら、長崎県の景色の良い所や歴史的に興味のある所へ行ってみたいと思います。同時に、皆様にオーストラリアの文化や英語を教えるのも楽しみにしています。よろしくお願いします！



『CIR と話そう！』でお待ちしています！



オーストラリア出身のフィッシャー・マーギュリート CIR や韓国出身の崔^{チェ}ダウン CIR と楽しくおしゃべりしませんか？英語や韓国語を話したい方、オーストラリアや韓国の文化に触れてみたい方など、どなたにもご参加いただけます！

●日時：水曜日（16：00～17：00）※週により国などが異なります。

●場所：長崎県国際交流協会（出島交流会館 1 階）

※詳細な日程は、長崎県国際交流協会の公式 HP をご覧ください。

●その他：予約不要・参加費不要

(公財) 長崎県国際交流協会

〒850-8062 長崎県長崎市出島町 2 番 11 号

TEL 095-823-3931/095-823-3929

FAX 095-822-1551/E メール nia@nia.or.jp



協会公式 HP



Facebook



地域住民国際理解講座

「長崎で暮らす外国人に話を聞こう（ベトナム編・インドネシア編）」を開催しました！

ベトナム編：5月29日（日）／インドネシア編：6月26日（日）

於：ながさき県民ボランティア活動支援センター 4階会議室 1・2

ベトナム人留学生のハンさん、インドネシア認定技能実習生送り出し機関のヘルマンさんを講師に迎え、地域住民国際理解講座「長崎で暮らす外国人に話を聞こう」を実施しました。講座の前半は、講師にそれぞれの国の文化紹介（歴史、宗教、食文化、観光地など）をしていただきました。

後半は、県内在住の留学生や特定技能、技能実習生にゲスト講師として加わっていただき、グループワークを実施しました。参加者は、やさしい日本語を意識しながら、ゆっくりと簡単な言葉で“長崎での生活で困っていること”“今後、長崎でやってみたいこと”などを質問し、ゲスト講師との会話の中で新たな発見や学びを得ていました。ベトナム編ではゲスト講師からの「ゴミの分別が難しい。洋服や家具は捨てる時どうしたらいい？」という相談に、参加者みんなでアドバイスを考えました。また、インドネシア編では「長崎にお祈りの場所やモスクがほしい」というゲスト講師からの声も上がりました。参加者からは「みんなが暮らしやすい町になるように協力していきたい」などの感想をいただきました。



イスラム教徒の女性が身に着ける
“ヒジャブ”のお話



グループワークの様子
(ベトナム編)



グループワークの様子
(インドネシア編)

日本文化体験教室

「生け花体験」を開催しました！

6月18日（土）、長崎県国際交流協会（出島交流会館 1階）にて、長崎県内在住外国人を対象とした日本文化体験教室を開催しました。

草月流の野口彩華先生から、生け花についての説明を聞き、水切りの意味ややり方、基本的な花の生け方を学びました。今回は「私の花」というテーマのもと、自由な発想で生け花を体験し、野口先生のアドバイスを受けながら、それぞれ個性豊かな生け花作品を完成させることができました！

参加された在住外国人の皆さんには日本で、また、母国でもそれぞれの生け花を楽しんでもらえると嬉しいです。



“水切り”を実践中

青少年国際理解講座

「遊ぼう！学ぼう！世界体験旅行！」を開催しました！

8月11日（木・祝）、長崎県庁大会議室にて、長崎県内の小学生を対象とした青少年国際理解講座を開催しました。今年は、オーストラリア、中国、ベトナム、タイの講師をお迎えし、各国の文化、食べ物、言語、小学生の様子について教えていただきました。子どもたちは、講師の話を熱心に聞き、積極的に質問をしながら、異文化について学びを深めることができました。参加した子どもたちには、新たな発見がたくさんあったようです。

タイで挨拶をする時は、言葉と共に手を合わせ、頭を下げる“ワーイ”というポーズをとります。



長崎県内で国際交流・協力を行う団体の紹介

Treasures of The Planet
の公式HPからも活動の様子
を知ることができます！



長崎県には、国際交流・協力を行う様々な団体があります。今回は、NPO 法人 Treasures of The Planet の理事長 松尾佳美さんに団体の活動紹介をしていただきました。

NPO 法人 Treasures of The Planet は、2014 年 8 月、在住外国人、開発途上国の人々を支援することを目的として長崎市内に設立されました。

2017 年、世界の人々のための JICA 基金をもとに「ラオスの少年少女たちのための交通安全教育ビデオの制作と上映」プロジェクトを実施しました。インフラの整備が進む中、交通事故が多発しているラオスの首都ビエンチャンの小中学校を訪問し、交通安全教育ビデオ上映会を行いました。

2014 年から長崎大学大学院の留学生とその家族を支援してきた経験をもとに、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）の 2020 年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成金により、長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科、長崎大学多文化社会学部の学生たちと共同で、「長崎発信型在住外国人支援プロジェクト」を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大後、在住外国人がどのような状況におかれているかを多国語でアンケート調査し、約 350 名から回答を得ました。このアンケート調査結果をもとに、在住外国人支援多国語対応ポータルサイト UNIVERSAL AID.JP を作成しました。UNIVERSAL AID.JP では、新型コロナ感染症関連の情報の他、市役所、気象庁など在住外国人の生活に必要な情報とリンクし、11 カ国語に翻訳して紹介しています。さらに、就職・子育て・近所とのトラブルなど在住外国人からの問い合わせを受け、困っている方々の支援を行っています。

また、開発途上国の無農薬農地の保全と活用プロジェクトとして、2017 年に、ラオス南部のチャンパサック郡パクソーンに 500 本のアボカドの苗を植えました。2022 年（今年）から少しずつアボカドを収穫できるようになります。今後はアボカド販売による収穫をもとに、ラオス南部の貧しい村々に井戸やトイレを作り、在住外国人支援プロジェクトも継続していきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大や SNS の普及などで、日本人と在住外国人とのコミュニケーションの取り方が大きく変化している今日、目に見えない所で孤立している在住外国人がたくさんいます。そのような時代の流れの中で NPO 法人 Treasures of The Planet は、人と人との繋がりを大切に活動が続けていきたいと考えています。



ラオスでの交通安全教育ビデオ上映会の様子



在住外国人へのアンケート調査
協力依頼の様子



ラオスで栽培中のアボカド

世界でキラリ★ JICA 海外協力隊



ボンジュール トゥ バ ビアン
Bonjour! Tu va bien?

こんにちは！ 元気？

白石 匠（しらいし たくみ）さん

【2018 年（平成 30 年）2 次隊 ジブチ 柔道】

世界中で活躍する JICA 海外協力隊。2018 年 10 月からジブチで柔道隊員として活動した白石さんにお話を聞きました！現地の人との素敵な写真ですね。



ジブチ共和国は、アフリカ北東部に位置する共和制国家。首都はジブチ市。公用語はフランス語・アラビア語で、アラビア半島に極めて近く、アラブ連盟の加盟国であるため、中東に含まれる場合もある。猛暑時期が半年も続く、とても暑い国。



配属されたジブチ柔道連盟は、2005 年に創設されたばかりで、私の主な活動は柔道の指導と普及でした。活動を行う上で特に注力した普及面では、畳の清掃方法や礼節などの柔道の精神的な部分を指導しました。

その中で、異文化理解を体験できるいい機会がありました。人口の約 9 割がイスラム教徒のジブチにおいて、柔道の基本である座礼・立礼ともに頭を下げるという行為は、イスラム教のお祈りをするときの姿勢に似ています。イスラム教徒の人にとってその姿勢は、イスラム教の唯一の神アラーに対してのみ行う行為です。そのためジブチでは柔道の礼節の部分が理解されづらく、疎かになっている節がありました。しかし、相手へ敬意を表すことは柔道にとってとても大切です。柔道の技を覚えたがる生徒も多いですが、それ以前になぜ礼をするのか、なぜ敬意を払うのかといった柔道への向き合い方も学んでほしいという想いがありました。“相手の文化を踏まえた指導が必要”“それでも柔道の大事な部分を疎かにする訳にはいかない”。活動には葛藤が多くありました。

生徒や保護者に対して礼節の説明会を行う中で、悩みながらも異文化理解に努める生徒が多く、単純にすごいなと感じました。もし、自分がジブチ人だったら理解できたかな？と俯瞰し、考えさせられる機会となりました。

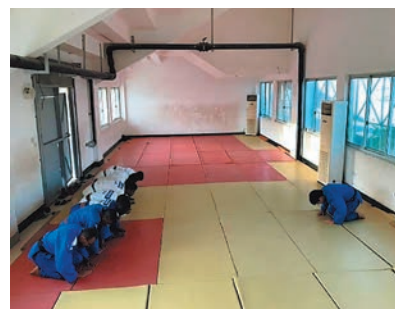
コロナで緊急帰国から約 2 年経ちましたが、急に電話をしてくれる生徒や毎日連絡をくれる生徒がおり、冗談交じりに『早く帰ってきて！』とか『先生から学ぶことがまだたくさんあるよ』などと言ってくれ、協力隊での活動は間違っていないのかなと嬉しくなります。ジブチで過ごした毎日は、私の財産になっています。



巡回指導の様子



試合の様子



座礼の練習

比べてみよう！日本とタイ ×



ポップさん

「สวัสดีค่ะ (サワディー カー)」(タイ語の挨拶で「こんにちは」)

私の名前は Pattaweewan Mansri です。ポップと呼んでください。2022 年 4 月から短期留学生として活水女子大学で日本語の勉強をしています。日本に来る前は、タイの日本語学校で 2 年間勉強をしていましたが、日本語を聞くことと話すことが苦手でした。毎日日本語に触れることで、日本語のレベルを上げたいと思い、日本へ留学することを決めました。将来は、チャンスがあれば、日本の食品や飲料を扱う会社で働きたいです。今回は、私が思う日本とタイの違いについてお話します！



タイ人ってどんな人？

タイ人の性格はのんびりしていて、優しいと思います。どこへいっても、困っていることがあれば、みんなが助けてくれます。そして、タイ人はいつもにっこりと笑っています。また、タイ人は自分の考えをはっきり伝えます。例えば、「行けない・行きたくない」と思ったら、はっきりと断ります。理由まで伝える必要はなく「行けない」と伝えても相手に失礼になりません。日本人は、断りたいときに「今日はちょっと…」や「難しそう」という言葉を使います。これは、タイ人と日本人の違いだと思いました。



タイではニックネーム (=チューレン) をよく使う

タイ人の名前は「名・姓」の順番で表記され、日本人の名前表記とは異なります。また、日本では相手の名前を呼ぶときに苗字で呼び合うことが多いですね。でも、タイ人はみんな自分の本名とは別に、ニックネーム (=チューレン) を持っています。タイではニックネームは本名以上によく使い、名前を聞かされるとニックネームを答えるほどです。ニックネームは両親が決めます。私のニックネームは「POP (ポップ)」です。由来は、家族みんなの名前が“P”から始まり、私の名前も“P”から始まるため、そのように名付けられました。ビジネスの場面では本名を使いますが、苗字は使わず、下の名前を呼ぶことが多いです。苗字を使うことはほとんどないので、友人の苗字を忘れてしまうこともあります (笑)



タイの挨拶と食事

日本では「こんにちは。元気ですか？」という挨拶をよく聞きますが、タイでは「元気ですか？」の代わりに「こんにちは。ご飯は食べましたか？」という挨拶をします。昔のタイは田舎で、家から家までや市場までがとても遠かったです。そこで、道で知り合いに会うと「疲れていませんか？おなかはどうですか？休んでいませんか？」という意味で「ご飯は食べましたか？」と尋ねていました。その名残から、今でも相手を気にかける気持ちでこのような挨拶をします。

また、タイの大きなレストランへ行くと、一人前の料理ではなく、全て大皿で提供されます。ご飯も一つ注文すると、大きな器で運ばれてきて、店員がお客さんが自分でよそいます。もし、料理を一人前だけ注文したいときは、そのように店員へ伝えなければいけません。

皆さん、タイに来たときは、日本では体験できないことにチャレンジして、タイを知り、楽しんでください！



タイの大皿料理

～ 最後まで読んでいただきありがとうございました！ ～

「ขอบคุณค่ะ (コップクン カー)」(タイ語の挨拶で「ありがとう」)



長崎県・協会からのお知らせ

「長崎県ウクライナ支援義援金」の募集について

長崎県では現在、ウクライナから県内に避難されてきた方を支援するため、「長崎県ウクライナ支援義援金」を募集しています。県内にも6月30日現在、17人のウクライナ人の方が避難されており、避難者の方の生活支援のため分配します。多くの県民の皆様からの善意のご協力をお待ちしています。

【募金受付期間】令和4年9月30日まで。(受付期間を延長する場合があります。)

【募金方法】

- (1) 募金箱の設置：長崎県庁行政棟1階エントランスホール、各振興局総務課
- (2) 義援金受入口座への振込：

《受入口座情報》

金融機関名	支店名	口座番号	口座名義
十八親和銀行	県庁支店	(普通) 5001081	長崎県ウクライナ支援義援金

※十八親和銀行、福岡銀行及び熊本銀行各本支店窓口での取扱いの場合、振込手数料は免除されます。

※ATM及びネットバンキングでの振込は有料です。

※県で受け付ける募金は、税法上の寄付金控除は受けられません。

【問い合わせ先】TEL：095-895-2083 / E-mail：s38050@pref.nagasaki.lg.jp / 担当者：長崎県国際課 山崎

「第24回ながさき国際協力・交流フェスティバル」の開催について

今年は3年ぶりに対面で開催いたします。今年は世界の音楽のステージパフォーマンスもありますよ！皆さまのご来場をお待ちしております！

日時：令和4年11月3日（木・祝）11：00～16：00

会場：長崎市民生活プラザホール・会議室

（長崎市築町3番18号メルカつきまち5F）

出展団体：県内の国際協力・交流団体29団体

内容：県内の国際協力・交流団体等の活動展示、ステージパフォーマンス（世界の楽器演奏等）、着物の着付け体験・茶道体験、サリーやアオザイの民族衣装着付け体験、フリーマーケット、フェアトレード製品・海外手工芸品等の展示販売、外国語でのチャットングや異文化紹介など

※新型コロナウイルス感染症対策のため、料理ブースの出展はありません。ご了承ください。



「第14回～語り合おう in Nagasaki～外国人による日本語弁論大会」の一般来場者を募集します！

日時：令和4年10月16日（日）13：30～16：00

場所：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジB2F（長崎県長崎市平野町7-8）

募集人数：30名

申込方法：下のQRコードまたはメールでお申し込みください。メールでのお申し込みの場合は、件名を「外国人による日本語弁論大会一般来場者申込み」としていただき、氏名・住所・電話番号を記載の上、長崎県国際交流協会<nia@nia.or.jp>へメールをお送りください。皆さまのお申し込みをお待ちしております！



日本語での
申し込みは
こちら



英語での
申し込みは
こちら



外国人支援事業を応援して下さる賛助会員を募集しています！

賛助会員として長崎県の在住外国人を応援しています！

安達株式会社 扇精光ホールディングス株式会社
ヤナセ産業株式会社 FROM ながさき協同組合
長崎県青果移出商業協同組合

年会費 個人会員：3,000円

法人会員：10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会までお問合せください。